

令和2年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	境港市内における再生可能エネルギー活用調査・研究事業	
補助事業者名	境港市	
補助事業の概要	市内の休眠地（公有地）に太陽光発電システムを設置し、近隣3か所程度の公共施設に供給し、災害時（停電時）における活用を中心とした事業可能性を調査する。設備を環境学習の場とするなど理解促進の方策も調査する。	
総事業費	12,096,700円	
補助金充当額	12,096,700円	
定量的目標	<p>本事業が終了する令和3年3月に、発電設備の概要や蓄電地容量、災害時における電力利用計画、理解促進のための基本計画など、事業の概要を決定することを目標とする。</p> <p>また、中長期的な目標として、市内の休眠地（公有地）における太陽光発電事業の実施と、公共施設3か所における防災目的での活用（蓄電地設置）の実現を目標とする。また、設置した設備を環境学習の場として活用し、年間80名程度の参加を目標とする。</p>	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>事業の成果として、想定した未利用公有地における発電設備の容量及び対象施設、最適な供給方法、防災面及び環境面での効果、環境学習の方法などの事業概要をまとめることが出来た。</p> <p>また、事業可能性については、概算工事費、ランニングコストなど費用面及び採算面の観点から、事業の実現が可能との結果となった。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	発電設備の概要や蓄電地容量、災害時における電力利用計画等事業可能性を調査するとともに、理解促進の方策を検討することを目的とする。
	契約の方法	条件付一般競争入札（総合評価方式：技術提案型）
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社エブリプラン 米子営業所
	契約金額（間接補助金額）	12,096,700円
来年度以降の事業見通し	現在、送電事業者と送電線への接続時期等について協議中。協議結果によって事業化の可否判断を行う予定としている。	